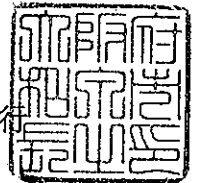




和泉道第 26 号  
平成 19 年 5 月 8 日

国土交通省道路局長 様

和泉市長 井 坂 善 行



中期的な計画の作成にあたっての意見について (回答)

新緑の候、貴職におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。  
日頃は市行政各般にわたり格別のご高配を賜り誠に有難うございます。

早速でございますが、平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号で依頼のあった  
みだしのことについては別紙のとおりです。

なお、意見項目として道路政策に関する大きなテーマを掲げられておりましたが、  
本市の道路事情に鑑み、細かな意見となりましたこと、何卒ご理解賜ります  
ようお願い申し上げます。

要望項目	和泉市と周辺都市をつなぐ幹線道路ネットワークの確立
要望内容	<p>○ 本市は大阪府の西南に位置し、大阪都心から約 25km、関西国際空港から約 20km の距離にあり、その位置特性を活かしながら「市民が安全で安心して暮らせるまち」を目標に 20 万都市を目指している。</p> <p>しかしながら、道路整備の遅れから、その優れた地域特性を活かしきれておらず、早期道路整備が本市活性化の重要課題である。</p> <p>1. 一般国道 480 号(父鬼バイパス)整備促進</p> <p>本事業は大阪府と和歌山県間のバイパスとして社会経済活動の骨格をなす道路で、平成 8 年度から国庫補助を仰ぎ整備を進めており、大きな事業費を要する府県間トンネルの施工も残っている。大阪府と和歌山県を結ぶ現道は、幅員が狭く勾配も急で危険であるため、一般車両並びに輸送車両等はこの道を避けている状態である。沿線市町の一体性を高め地域産業経済の発展を期待し早期完成を望みます。</p> <p>2. 都市計画道路の整備進捗率(延長換算)が未だ 67.5%と、1/3 の整備を残している。</p> <p>① 都市計画道路の南北道路間隔が粗いと指摘されている中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3・1・219-1 泉州山手線は整備率 100%でカウントされているが、本市区間のみ準高速道路は全く整備されておらず、慢性的な交通渋滞を引き起こしている。</li> <li>・ 3・3・219-6 大阪外環状線は整備率 100%でカウントされているが、全線 4 車線化に至っておらず沿道整備もままならない状態が続き、景観面でも問題を引き起こしている。</li> <li>・ 3・6・219-7 大阪岸和田南海線の整備率が約 52%であり、部分的な供用開始を行うも、整備区間起終点部から生活道路への交通流入が周辺住民の生活安全を脅かしている。</li> <li>・ 3・6・219-19 大阪和泉泉南線は昭和 41 年に都市計画決定後、全くの手付かずで慢性的な交通渋滞を引き起こしているばかりか、和泉府中駅東再開発事業にまで負担を強いている。</li> </ul>

	<p>② 軸となる幹線道路整備の遅れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪臨海線と大阪外環状線を結び、産業道路としての性格の強い 3・4・219-9 池上下宮線の整備率が約 15%と、本市の活力軸として位置付けられた道路整備の遅れが市の経済発展にブレーキをかけている。</li> </ul> <p>③ 駅前交通結節点整備の遅れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>JR 阪和線駅前の交通結節点となる 3・4・219-12 北信太駅前線及び 3・4・219-13 信太山駅前線は駅前広場を含め未整備で、慢性的な交通混乱を引き起こしている。</li> </ul> <p>以上の例に掲げたとおり、本市ではまちの骨格をなす幹線道路整備がまだまだこれからの課題である。</p>
--	---

Vol. 2

(様式)

要望項目	「安全で安心して暮らせるまち」の形成に向け
要望内容	<p>① 市街地の道路密度基準を確保し、多重ネットワークの形成に努め、災害時の避難路機能を拡充</p> <p>② 歩道設置及び歩道のバリアフリー化の推進</p> <p>③ 安全・安心な道路ネットワーク形成のための歩行者専用道路や自転車道の整備促進</p> <p>④ 市民の足である既存バス路線の安全対策として拡幅整備の推進</p> <p>以上のような日常生活において安全で快適な道路空間整備が必要。</p> <p>○このように、和泉市の道路は全国や大阪府下の整備水準に達しておらず、新規路線の整備や狭幅員道路の拡幅整備が必要。</p> <p>○このため、真に必要な道路整備の姿を示した中期的な計画の策定にあたっては、本市を支える道路ネットワークを早期に整備する必要があり、特段の配慮をされるよう道路財源を確実に確保されたい。</p>

課題、効果、 メリット等	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 幹線道路を含め全ての道路のネットワーク整備により、産業・経済・観光など幅広い分野にわたり、和泉市や泉州地域の発展に寄与。</li><li>○ 市街地の道路密度基準を確保し、災害時の非難経路の拡充に寄与。</li><li>○ 道路は都市内における貴重な公共空間であり、都市環境・都市景観の大きな要素として、豊かな歩道や植樹帯は緑と憩いの空間を提供してくれるものであり、道路整備への積極的な投資は円滑な交通流動に留まらず、市民生活へのゆとり・うるおいに大きく寄与。</li></ul>
-----------------	--